

「楽しく作る益子焼」



「楽しく作る益子焼」を開催しました。今回は、20名の方に参加いただきました。伝統工芸士 床井崇一氏、陶芸家 塩幡桃子氏を講師にお迎えし、全3回の活動がスタートです。



第1回(11月14日)

1日目は、テーマ成形と自由成形です。今年のテーマは「蓋付きの小物入れ」です。講師の手本を見た後は、各自実際に作る形を決めて、各工程を進めていきました。



同じテーマでも、それぞれに自分の思いが込められていて、一点一点いろんな表情の作品が作られていきました。



第2回(11月28日)

2日目は釉薬がけ、絵付けです。色見本を参考にしたり、手本を見たりして、焼き上がりをイメージしながら作業をされていました。



講師の先生のサポートを受けながら、本焼き前の窯詰めを、参加者が行いました。どんな作品に焼き上がるのか、緊張の窯詰め作業となりました。



第3回(12月5日)

3日目は、できあがった作品の鑑賞会です。作品の仕上がりを確認したり、他の参加者の作品の良いところを話したり、終始笑顔で達成感を分かち合っていました。



鑑賞会の後は、講師の先生から講話をしていただきました。テーマは、ずばり「粘土について」でした。皆さん熱心に話を聞かれています。アンケートでは「物作りの楽しさを知ることができた。」「できあがった作品に感激した。」などの声をいただきました。参加者の皆さん、3日間大変お疲れ様でした。